

< 藤岡地域 >

■ おいわ淵伝説

部屋地方は、昔、毎年のように水害に苦しめられていた。田畑が荒らされ、多くの人々の水死が繰り返された。

やがて村人から水害を防ぐために、若い娘を人柱にする

風習が起こった。その人柱の一人がおいわであった。

何回かの河川改修により、今はこのおいわ淵は姿を消して

いるが、大正7年おいわ稲荷だけは部屋地区の帯刀研修館内に

移転され、つい最近まで村人たちの手で香華が手向けられていた。